



しおかぜ通信

八代市立郡築小学校
校長 村嶋 博史



学校教育目標「自ら学ぶ子供」

R7,10,22 No,21

郡築小ホームページ

5年生は「水俣に学ぶ肥後っ子教室」に参加してきました

10月9日(木)、5年生は「水俣に学ぶ肥後っ子教室」に参加するために、水俣市にある「国立水俣病情報センター」、「県立環境センター」、「市立水俣病資料館」などへバスで出かけました。

子供たちは、現地を訪れ、様々な資料を見たり、語り部の方の話を聞いたりしながら、公害の歴史のみならず、環境、人権、そして社会のあり方について幅広く学んでいました。

その後、「あしきた青少年の家」へ移動し、引き続き「集団宿泊教室」(1泊)に参加しました。子供たちは、集団宿泊教室を通して、自然とのふれあいで感受性や自然愛護の心や、集団生活で協同性、規律、友愛といった社会性の基礎、仲間との協力で連帯感や所属感などを育み、お互いを高め合う人間関係を築いていました。



不審者対応避難訓練を行いました

10月15日(水)、不審者が校内に侵入したことを想定した避難訓練を行いました。多くの子供は、命を守る行動を真剣かつ迅速にとっていて、感心しました。

訓練後、体育館に移動し、警察の方から避難時の気づきや登下校時での不審者から身を守る行動について話をいただきました。

最後に、校長の話として、毎年避難訓練を複数回(不審者の他、火災や地震・津波などを想定)行っている意義と大切さについて、「毎年繰り返し行う避難訓練は、非常時のパニックを防ぎ、迅速かつ安全に避難することで被害を最小限に抑える。いわゆる命を守る行動を身に付けるために行っています。そして、災害(不審者対応含む)により避難(回避)の仕方が多少違うので、毎回真剣な態度で参加し、災害に応じた避難(回避)の仕方を覚えることは自分の命を守ることに繋がります。」などと話しました。



4年生は「カルビースナックスクール」(食育)に参加しました

10月16日(木)、4年生は、カルビー株式会社のご協力のもと、「望ましい食習慣」や「自己管理能力」を育てることを目的とした食育プログラム「カルビースナックスクール」に参加しました。

このプログラムは、「子供たちが健やかな食生活を送れるよう、食習慣について自分自身で気づき・考え・行動できるようになってほしい。」そうした想いを込めて、カルビー株式会社が提供するものです。

参加した子供たちは、楽しそうに学び、体験し、食の大切さを感じていました。ここで気づき、考えたことは、今後の生活で是非生かしてほしいと思います。



6年生は「ブロック別球技大会」に参加しました

10月16日(木)、八代小学校体育連盟主催の「ブロック別球技大会」(ビーチボールバレー)を本校体育館にて行いました。大会には、昭和小学校と本校の6年生が参加しました。チーム編成は昭和小学校と本校の子供の混成とし、競技力向上と親睦を目的としました。

来年度、多くの子供が第七中学校で同級生となる昭和小学校の6年生と笑顔でハイタッチする姿に、親睦の深まりを感じました。また、競技も盛り上がり、目的を果たした有意義な大会となりました。

引率された昭和小学校の校長先生をはじめ担任の先生方のご尽力に心より感謝します。

